



トコロん  
© 所沢市

# わかたけ

No. 103

令和8年3月1日発行

- 発行：青少年育成所沢市市民会議
- 編集：わかたけ編集委員会
- 事務局：こども未来部 青少年課  
☎ 2998-9103

所沢の未来を形づくっていくのは、いまこの地域で育っている子どもたちです。だからこそ公益社団法人所沢青年会議所では、青少年が伸び伸びと挑戦でき、安心して成長できる環境づくりを大切にしてきました。家庭や学校だけでは得られない学びや経験を、地域の大人たちのさまざまなと多様な体験の中で積み重ねていけるよう、これまでさまざまな事業を行ってきました。

当会が青少年育成で重視しているのは、挑戦の成功や失敗そのものではなく、子どもたちの中に芽生える変化です。不安や緊張の中で踏み出した一歩、悔しい思いを抱えながらも仲間励まされて立ち上がる姿、自分で考えて行動した経験から得られる自信。その積み重ねが、子どもたちを大きく成長させていきます。大人が答えを用意するのではなく、子ども自身が気づきをえられるよう静かに支えることが、当会の育成事業の中心にあります。

子どもたちの  
成長を支える  
所沢青年会議所



わんぱく相撲大会

こうした考え方のもと、令和7年には第45回ちびっこフェスティバル「わんぱく相撲大会所沢場所」を開催しました。400名を超える子どもたちが参加し、初めて土俵に立つ緊張の面持ちや、勝敗を越えて互いをたたえ合う姿が見られました。

また当会では、毎年その時流に応じた体験型の青少年事業を行っています。内容や場所は年度ごとに異なりますが、これまでに伊豆大島を舞台とした「オオシマクエスト」などを実施してきました。自然の中で自分の力を試す場面が多く、仲間と協力しながら課題に向き合う中で、子どもたちの表情や姿勢に大きな変化が生まれていきます。机上では得られない、生きた学びを体感できる貴重な機会です。



表彰式の様子

え、所沢代表として出場した中では最高成績となる全国大会団体戦優勝という成果を収め、地域に大きな喜びをもたらしました。

当会が目指しているのは、事業を通じて子どもたちが「自分にもできる」と実感できる瞬間を積み重ねていくことです。小さな成功や、自分なりに乗り越えた経験が、次の挑戦へ向かう確かな力になります。その経験の積み重ねが、将来このまちを支える若者へと成長していく土台になると信じています。



体験事業の様子

これからも当会は、地域とともに子どもたちの歩みに寄り添い、未来を育む活動を続けてまいります。

(公益社団法人所沢青年会議所  
監事 三芳文彬)

## 視察研修 ―東京都人権プラザ―

令和7年12月4日（木）、青少年育成所沢市民会議視察研修が実施されました。

視察先は、東京都港区にある「東京都人権プラザ」です。ここは、人権について、学び・体験する・楽しむ・気づく・理解することができるとされています。この日は好天に恵まれ、37名が参加しました。



東京都人権プラザ（東京都港区）

建物の入口を入るとそこは「子どもの権利」を学べるフロアーになっており、セサミストリートなどのキャラクターが壁全面に色鮮やかに描かれ、本を読んだり、話し合い、遊んだり、子どもたちが自主的に学べる場所になっています。

私たちは、セミナールームで、人権問題を理解するための講義を聞きました。

国連が1948年に世界人権宣言を発しました。「全ての

人間は生まれながらにして自由であり、かつ尊厳と権利について平等である」と。日本でも、多くの人権（人種、性別、教育など）が憲法で保障されています。

でも現実はどうでしょう。世界ではいまだに戦争によって多くの命が失われ、平和な日本でも差別、いじめなどの問題が多く提起されています。

「人権」は、全ての人が幸せで当たり前の生活ができるようにあるのだと思います。

人間は一人では生きられない。気づき、思いやり、感謝の気持ちを持ち続けたいと思います。

講義の後、私たちはボッチャを体験しました。二班に分かれボールを一人二投するだけのゲームでしたが、楽しく夢中になりました。機会があれば障害をもつ方々と一緒に、教えていただきながら練習したいと思いました。

その後、亀戸天神、柴又の帝釈天を巡り、世界と日本の平和を願いつつ、「あたりまえの日常生活が送れますように」と手を合わせ帰路につきました。他団体との交流もでき、有意義な一日となりました。

（道又一枝）

## 「家庭の日」作文表彰式 優良青少年表彰式

令和8年2月7日（土）、

新所沢まちづくりセンターで「令和7年度『家庭の日』推進事業（青少年―明日へのメッセージ）優秀作文表彰式、優良青少年及び青少年健全育成功労表彰式」を行いました。

### 「家庭の日」推進事業

### 青少年―明日へのメッセージ

毎年、所沢市との共催で「家庭の日」推進事業として、小学3年生から中学3年生までを対象に、家族のことや将来の夢などをテーマにした作文を募集しています。

今年度は、小学生95点、中学生315点、計410点の応募がありました。

表彰結果は次のとおりです。



表彰式の様子

### 【特選】

#### 《小学生の部》

- ・ 井上 翔真（所沢小4年）
- ・ 山口 湊太（東所沢小4年）
- ・ 田中 稀菜（西富小5年）

#### 《中学生の部》

- ・ 小迫田 蘭（南陵中1年）
- ・ 武田 楽来（北野中1年）
- ・ 高橋 煌貴（安松中2年）

### 【金賞】

#### 《小学生の部》

- ・ 大谷 咲（中央小4年）
- ・ 大西 花怜（明峰小5年）
- ・ 前田 綾美（明峰小5年）
- ・ 亀山 望（東所沢小6年）
- ・ 林 拓摩（東所沢小6年）

#### 《中学生の部》

- ・ 林 泉希（南陵中1年）
- ・ 早坂 凱（安松中2年）
- ・ 井瀧 莉子（所沢中3年）
- ・ 尾形 美和（南陵中3年）
- ・ 田所 咲空（南陵中3年）

### 【銀賞】

#### 《小学生の部》

- ・ 井上 涼太（安松小4年）
- ・ 錦織 友紀（東所沢小4年）
- ・ 横瀬 佳奈（山口小4年）
- ・ 小林 茉央（東所沢小5年）
- ・ 清水 佳凜（北中小5年）
- ・ 柴崎 瑛人（北秋津小6年）
- ・ 金子 覚意（東所沢小6年）

#### 《中学生の部》

- ・ 市川 美結（中央中1年）
- ・ 千葉由莉子（南陵中1年）
- ・ 山口結唯奈（南陵中1年）

- ・ 吉野 未桜（南陵中1年）
- ・ 小柳 結絆（安松中2年）
- ・ 佐藤 茅紗（安松中2年）
- ・ 二上 勇斗（中央中3年）

### 優良青少年及び青少年健全育成功労表彰

所沢市と共催で行うこちらの表彰は、スクールガードリーダーをはじめとした子どもたちの見守り活動やスポーツの指導、青少年関連の事業への協力など、長年にわたる功労を称え、表彰するものです。

今年度は、青少年健全育成功労表彰のみとなりました。

表彰結果は次のとおりです。

### 【青少年健全育成功労者】

- ・ 岡崎 容子 ・ 竹島奈穂子
- ・ 内野 努 ・ 河内 奎三
- ・ 齋藤 章 ・ 本橋 章吉
- ・ 野尻 博行 ・ 丸田 洋介
- ・ 榎下 一雄 ・ 泉田 和吉
- ・ 渡邊 拓治 ・ 深井 義之
- ・ 野村 隆志 ・ 菊地美起子
- ・ 白石 洋子 ・ 村主 昭雄
- ・ 風間 倫丞 ・ 佐々木康人
- ・ 行田 拓史 ・ 宮脇 啓二

受賞者の皆様、おめでとうございます。

「家庭の日」の受賞作文はこちらからご覧いただけます





### 大型かるた大会

令和7年10月25日(土)、所沢市民フェスティバルにて「所沢郷土かるた大型かるた大会」を開催しました。



大会の様子

当日は、中学生ボランティアのジュニア推進員が4名参加してくれました。ご協力ありがとうございました。



### 所沢郷土かるた大会

令和8年2月11日(水)、こどもと福祉の未来館にて、所沢郷土かるた大会決勝戦を開催しました。

市内11か所の児童館の予選を勝ち抜いた子どもたちが集結し、競い合いました。優勝を目指して真剣に札を取り合う子どもたちの熱い戦いは、真冬の寒ささえ和らぐほどでした。

この大会は、かるたを通して、所沢の歴史や文化を学ぶことができる大会です。来年度もたくさんのご参加お待ちしております。

### 所沢郷土かるた写真コンテスト

今年度も「親子で再発見! 所沢郷土かるた写真コンテスト」を実施しました。

46点もの応募の中から、金賞1点、銀賞3点、銅賞5点を選出し、入賞した方へは賞状と賞品を贈呈しました。今回は、かるた札「ま」にちなんで撮影した写真が金賞に選ばれました。



金賞の作品

まあ一杯、お茶と団子でおもてなし

### 銀賞の作品



受賞作品はこちら

### かるた札紹介

広報紙わかたけでは、かるた札の連載をしております。今回は「う」の札です。

### 牛沼の

閻魔様は 裁判長



### 所沢郷土かるた販売中!

ご家庭でもかるたを楽しめるよう、市役所青少年課で販売(1個 800円)しております。ぜひどうぞ。

### LINE限定配信動画 お楽しみに!

若者の皆さんから所沢市観光大使坂巻有紗さんへの質問を募集したところ、多くの質問が寄せられました。

その中から、所沢市で選定した質問に坂巻さんが回答してくれた様子を所沢市公式LINEアカウント「こども・若者情報チャンネル」にて限定配信します。ぜひ友だち登録のうえ、配信をご覧ください。



# 各種事業の報告

## 青少年健全育成 街頭啓発キャンペーン

令和7年11月8日(土)、所沢市と共催で、「青少年健全育成街頭啓発キャンペーン」を所沢駅周辺で実施しました。

今回のテーマは『青少年は地域社会からはぐくむ』です。このキャンペーンは、次代を担う青少年を非行から守り、犯罪に巻き込まれることのないよう、関係機関・団体などが連携して行っています。



開会式の様子

当日は、市民会議の構成団体のほか、10団体の協力を得て、114名が参加しました。ジュニア推進員も2名参加し、啓発物品を配布しました。

## 青少年三道大会(第64回)

令和7年11月16日(日)、剣道の部は市民体育館、弓道の部と柔道の部は市民武道館で開催しました。

当日は、522名が参加し、個人戦・団体戦問わず白熱した試合を繰り広げました。



柔道の部

## 少年少女 バスケットボール大会

令和7年12月20日(土)、21日(日)の2日間に渡り、市民体育館にて開催しました。

男子7チーム、女子12チームの全19チームが出場しました。盛大な応援のもと、どのチームも最後の一秒まで諦めずにプレーしました。

### 【成績】

- ・男子の部
  - 優勝 柳瀬セブンピース
  - 準優勝 林クローバーズ
  - 第3位 北野シューティングスターズ

## 女子の部

- 優勝 林クローバーズ
- 準優勝 所沢ライオンズ
- 第3位 柳瀬セブンピース



男子の部

## ジュニア卓球大会(第34回)

令和8年3月8日(日)、市民体育館メインアリーナにて開催します。選手たちの活躍をお楽しみに！

## 信号機

「私の娘は鬼ババではありませぬ。もう二度と悪口を言わないで下さい。」担任の先生と共に教室に入ってきたクラスの子供の母親が教壇の上で、涙ながら訴えていました。すでに半世紀以上前、私が小学生時代に体験した一場面です。

母親の突然の行動を見てい

たクラスの女子児童も大粒の涙を流していました。

「鬼ババ」とは、彼女の容姿からきたもので、長い髪、つり目で、八重歯が2本口元から見えていたことから、クラスの男子がつけたあだ名で、いつの間にかクラス中に広がったものですが、そのことが、彼女を深く傷つけていたわけです。

娘を守るためにとつた、一途な母親の行動、その母親の訴えから、教室への入室を許可した担任教師の対応には、時代が大きく変化したとは言え、間違いなく賛否が分かれることと思います。

現在でも、いじめの解決は簡単なことではないからこそ、家庭と学校が協力して本気で取り組む必要があると考えています。

実は、その日を境に私のクラスから、容姿や性格についてのあだ名や言葉のいじめがなくなつたことを今も、覚えていています。

(江口庸介)

## 編集後記

年度末を迎え、区切りの時期となりました。

木々も伸び始め、フレッシュな新芽の色に「希望」を感じるの、私だけでしょうか。

巢立ちの季節でもある三月。大切にしてほしいのは、心の成長です。

形に表われる結果とは違い、評価は少ないかもしれませんが、自身にしかわからない努力や重圧もあったと思います。生活の中では「できた」「できない」の判断をしてしまいがちです。失敗の経験も、心の成長につながるが、よく思っています。

成功しなかったことも、負けてしまったことも、次の原動力の一步にしてほしいと、心より願っているのです。

(三浦光子)

### 編集委員

- ▽仲修一
- ▽道又一枝
- ▽三浦光子
- ▽江口庸介

●まんが作 島田孝行

●「わかたけ」がダウンロードできます。

